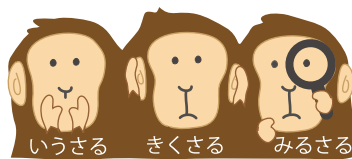




たんばいんぐ

議会だより

No.44
2016.1



CONTENTS

に新たな試みを導入	2
PICK UP! 12月定例会	4
★	7
議案の審議結果	8
市議会からの	10
17人の議員が	12
と思える議会だよりって?!	19
みなさんからのひとこと	20



たくさんさんの「声」をありがとうございます

議会報告会に

新たな試みを導入

11月9日と10日の二日間、市内各地域で議会報告会を開催しました。

9月定例会の審議結果の概要について議員から報告を行い、その後、市政などについて参加者のみなさんとの意見交換会を実施しました。



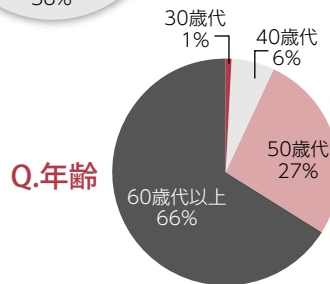
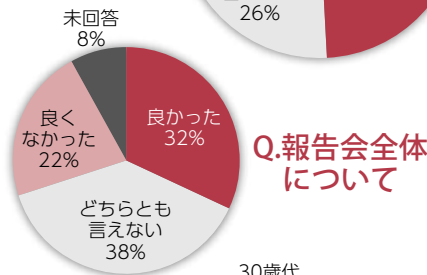
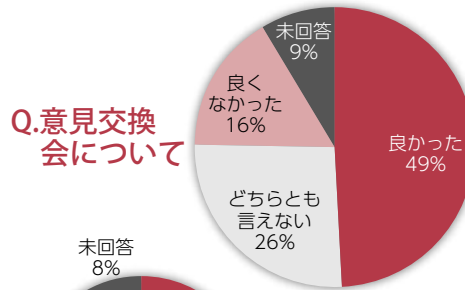
柏原自治会館で行われた報告会。お互いの意見を熱心に聞く参加者のみなさん。

...

今回の新しい取り組みとして、1人でも多くの方のご意見を聞きたいと、報告会の第2部に少人数のワークショップ(分散会方式)を取り入れて開催しました。

これは全国でも数少ない取り組みでしたが、終了後のアンケートの感想からは、今回はじめての開催にも関わらず、少人数の場で対話ができる新たな形式を、多くの参加者の方々に満足いただけるという結果となりました。

今後もより多くの方からご意見をお伺いし、市政への提言として反映していけるよう努力いたします。次回の議会報告会の日程が決まり次第お知らせしますので、たくさんさんの市民の方にご参加いただきますようお願いいたします。



生郷交流会館で開催された氷上地域の報告会の様子。他地域からの参加者もあり、会場はいっぱい。



1

水道問題



・当事者として、まだ納得していない。きちんと住民の理解を得てから事業を進めるべきだ。
 ・天王坂経由での上水道に関して詳しい説明をお願いしたい。

2

病院跡地



新病院の建設によって生じる病院跡地について、地域にとって価値ある有効活用策を考えて欲しい。

3

空き家



増加する空き家の問題を解消するために、移住してくる人が増加していくような全国でも特徴的な取組みをして欲しい。

たくさんのご意見をいただきました



TAKUSAN - NO KOE - WO ARIGATOU

4

災害復旧



まだまだ復旧はこれから。二次的被害が起らないように、改修工事も迅速に進めていただき、絆が薄まらないよう自治会の活動にも支援をいただきたい。

5

公共交通



病院や買物に行くための公共交通の整備について、デマンドタクシーの接続の不便さの解消などをぜひとも検討して欲しい。

6

マイナンバー



マイナンバー制度の導入は非常に心配だ。個人情報情報を慎重に取り扱い、市民に不利益の無いように細心の注意を払って取り組んで欲しい。



たくさんของกลุ่มに分かれてのグループワーク (ハートフルかすが)

グループワークで出した意見を全体会で発表 (青垣住民センター)

「グループ討議で意見が出しやすかった。」「本音で話し合えた。」「議員が市民の声を聴く機会をもたれることがよい。」「ほかの方の意見も聞いて良かった。」「議会報告の説明が分かりにくく、短時間で不十分だった。」

グループワークによる意見交換会と全体会での発表



グループワーク (山南住民センター)

グループワーク (市島農村環境改善センター)

別室まで参加者でいっぱい (生郷交流会館)

1. これまでの経緯

現在、山南地域のゴミは篠山市清掃センターで処理されています。同施設は平成14年に建設され、当時の篠山市と旧山南町が篠山清掃センター運営協議会を設置し、建設費や施設運営費の負担割合などを定めた確認書を交わし、旧山南町のゴミ処理を同施設で行うこととなりました。さらに、丹波市合併後の平成17年には、篠山市と丹波市がほぼ同じ内容の確

認書を交わし、現在に至っていません。

2. 確認書にある負担割合の見直しを

ごみ1トンあたりの運営経費の負担割合が篠山市に比べて2倍近いことから、これまで負担割合の見直しを再三求めてきましたが、篠山市側は確認済み事項であるとの主張を変更していません。



第 85回丹波市議会定例会を、12月1日から12月22日まで22日間の会期で開催しました。

平 成27年度一般会計及び各特別会計補正予算は、議長を除く議員全員による補正予算特別委員会(前川豊市委員長)で審査し、その他の議案については付託先の各常任委員会で慎重に審査され、それぞれ可決しました。定例会での主な質疑のうち主な3議案についてご紹介します。

総務 [116
[117

やまなみホールを文化ホールから多目的利用できる大型貸室に用途変更

平成25年に策定した丹波市生涯学習施設整備方針(適正配置計画)に基づき、平成27年度にやまなみホールの舞台等既存設備を簡易に操作・利用できるように改修し、多人数での研修会などで使用できる多目的の大型貸室に用途変更することに伴い、「文化ホール」としての位置づけを廃止し、関係条例の改正を行うものです。



やまなみホールでの文化協会発表会

問 どのように変更しようとするのか。

答 講演会、発表会、簡単な文化行事に使用できるようにします。従来は市の職員が照明、音響などの操作をしていましたが、今後は、利用者で操作してもらうこととなります。簡易な操作盤を設置し、照明はLED化をはかり、新たにプロジェクターを設置します。使用料金も安くなります。

問 移動式の観客席の椅子は残るのか。住民や利用者への説明が不足していないか。

答 観客席の椅子は使えなくなるまで残します。住民・利用者への説明が不十分だったと反省しています。今後とも、用途変更について説明していきます。



補正
特委

133 4
5 133 4

運営負担金等を除く原案訂正により可決

一般会計補正予算案に、篠山市清掃センターの運営負担金1,017万円が計上されていたことから、「建設費や施設運営費の負担割合などを見直すための話し合いを今こそ進めるべきだ」との意見があがり、18日の補正予算特別委員会では、追加補正を見送りこれを削除する修正案が全会一致で可決されました。

これを受けて、本会議最終日の12月22日、辻市長から「特別委員会での審査結果の重大性を鑑み、篠山市との前向きな協議・交渉に挑みたい」と、当局自ら1,017万円を削除した補正予算の訂正案が提案され、委員会での審査を経て本会議で全会一致で可決されました。

問 山南地域のごみを処理するのにトン当たりいくらの運営経費がかかっているのか。

答 平成26年度は2,400トン进行处理しており、トン当たり約4.5万円です。



12

27

12月定例会 12月1日～22日（会期22日間）

委員会付託議案：総務10件、民生3件、産業建設7件、補正予算特別4件

民生

122

手話でだれもが安心して暮らせる社会を ～丹波市議会初の議場での手話通訳～

手話は言語であることを理解し、手話を必要とする市民が、あらゆる場面で手話による意思疎通を行い、自立した日常生活を営み、安心して暮らすことのできる地域社会を実現するために制定されるものです。

問 手話施策推進協議会の委員構成は。

問 逐条解説[※]等を作成し市民に周知すべきでは。

答 手話による意思疎通を行う者等により15名以内で組織を構成します。

答 条例の目的は手話を言語として使うことの意義を浸透させるものであり、市民に啓発できるように検討します。



市議会初となる議場での手話通訳（上）と傍聴席のろうあ協会関係者など（下）。

[用語解説] 逐条解説：「逐」には順番にあとを追って進むという意味があり、「条」は条文を指します。「逐条解説」とは、条文を一つ一つ順番に解説していくという意味です。

委員会付託：議案は、本会議で全体的な観点から質疑が行われたあと、一部例外を除き所管の委員会に委ねられ（付託され）詳しく審査されます。本会議最終日には、委員長からの審査報告に続き、採決が行われます。

〔議案第118号〕 俳人細見綾子ふるさと文化振興基金条例制定
細見綾子氏生家の保存と丹波市の文化振興のための寄附金を適正に管理するための条例を可決



細見綾子邸を視察する
総務常任委員会の委員

丹波市ゆかりの俳人細見綾子氏の遺族から、生家並びに1億円の寄附採納を受けたことから、氏の功績を称え顕彰するとともに、生家の保存及び利活用、また、丹波市の文化振興事業の推進を図ることを目的として、丹波市俳人細見綾子ふるさと文化振興基金条例を制定するものです。

問 生家の修繕、駐車場の設置、便所の設置などでどのくらい費用がかかるのか。寄附金1億円以内で考えているのか、一般財源の持ち出しもあるのか。

答 活用方法は現在検討中です。観光活用するのか空き家管理とするのか、活用の仕方によって費用が変わりますので、一般財源からの支出もあります。

問 今回の生家と寄附金は負担付寄附になるのではないのか。

答 負担付寄附にならないように寄附者と契約しています。寄附金は生家の維持管理費用などに使います。

〔議案第121号〕 被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

消防団員の公務災害にかかる補償率を維持するための条例が改正されました

共済年金と厚生年金が統合されたことにより、これまで、消防団員が火災の鎮圧、天災等の発生における人命の救助等による公務上の災害を受けた場合に支給されていた傷病年金等の支給率が下がるとを防ぐため、調整率によって補填する条例が改正されました。

〔議案第133号〕 一般会計補正予算（第4号）

債務負担行為*

青垣地域小学校統合準備事業としてスクールバス3台購入に係る費用5,040万円を計上



問 通学経路と時間帯の渋滞予測など人の命の問題として、教育委員会単独でなく関係部署と協議する予定はあるのか。

答 建設部や関係部署と検討します。

歳出

生活自立支援の相談窓口の見直しにより生活困窮者自立支援事業委託料1,515万円を減額

問 相談や問い合わせが少なくなり窓口を減らすために減額されるのは、解決の効果があつたからなのか。仕組みづくりの場について検討できないか。

答 公設の相談窓口「めばえ」をワンストップ窓口として充実させるとともに、地域や事業者が参画できる仕組みを検討します。

U・Iターン推進事業1,602万円を計上

定住希望者が起業する際に利用できる施設整備のためイノベーションハウス整備事業*補助金1,430万と定住促進活動委託料172万円を計上。

問 定住促進活動委託料の内容は。

答 相談業務に32万3,000円、パンフレット作成委託に140万円を計上しています。

マイナンバーカード作成時の顔認証システム導入に639万円を計上

問 顔認証の機器はなぜ必要か。

答 マイナンバーカードを交付する際は、本人であることの確認が重要ですので、カードの写真と来庁された方が同一人物であるかどうかを確認するため、本庁・各支所に設置するものです。

〔用語解説〕債務負担行為:行政が契約をする場合、「会計年度独立の原則」によって単年度契約となります。しかし、大規模な工事など複数年にわたる契約が必要な場合は、債務負担行為の手続きをすることで次年度以降の支払分を含めた1つの契約を締結することができます。

イノベーションハウス整備事業:定住希望者が起業する際に利用できるシェアオフィスや、商品を販売するチャレンジショップなどとして利用できるよう、空き家などを改修する事業。

〔議案第125～130号〕丹波市立とれとれ市農産物直売施設ひかみ四季菜館、道の駅あおがき直販加工施設、道の駅丹波おばあちゃんの里、丹波悠遊の森、ウディップラザ山の駅、今出川親水公園に係る指定管理者の指定

農産物販売所等の民間譲渡など指定管理に対する市の考え方を問いました

さくら公園内にある「丹波市立とれとれ市農産物直売施設ひかみ四季菜館」のほか、市内5つの施設が、平成28年4月から33年3月まで指定管理*者の管理の期間を5年間更新する議案が提出され、委員会で可決しました。



四季彩館（氷上町本郷にあるさくら公園内）

問 ひかみ四季菜館は、指定管理料を支払わなくても収支がとれているのではないのか。市は民間に経営を委ねている指定管理施設について、今後、譲渡など指定管理の方向をどのように考えられているのか。

答 ひかみ四季菜館は収支がとれている施設ですが、運営している「丹波とれとれ市」がさくら公園も管理しているため、その管理委託料として年間84万円を支払っています。丹波市の農産物販売や情報発信、交流の役割を担っていただいておりますので、市では指定管理料の支払いの有無に関わらず、今後も指定管理施設として引き続き継続していく方針です。

問 今出川親水公園で、新たに指定管理料30万円が必要になったのはなぜか。

答 経営面が苦しく親水公園の管理ができなくなり、公園内の川の整備等をし、安全に来場者に遊んでもらう為に必要になりました。

〔用語解説〕指定管理：地方自治体が所管する公の施設について、管理・運営を民間事業会社を含む法人やその他の団体に委託することです。民間等のノウハウを導入することにより、効率化を図ることができます。指定管理者の指定は、自治体の長が条例で定めることで使用許可が与えられるため、議決事項となっています。

病院統合

- 1 -



特別委員会で調査研究中

平成24年11月、県の「丹波地域の今後の医療提供体制のあり方に関する検討会」から、「県立柏原病院と柏原赤十字病院を統合再編することが望ましい」とする提言書が提出されたのを受け、平成30年度に両病院の統合再編が行われることとなりました。

これにより丹波市では、市が設置する地域医療総合支援センター（仮称）、丹波市立看護専門学校などの整備について庁舎内に検討組織を設置し、同センターとその周辺の整備や両病院の跡地利用を含めた検討をされています。

丹波市議会においても、10月の臨時会で「丹波市地



域医療総合支援センター（仮称）等調査特別委員会（西本嘉宏委員長 議長を除く全議員19名で構成）任期は調査終了までを設置し、これまでに3回の委員会を開催。12月には県の病院局からも出席いただき意見聴取などを行いました。

今後も、整備施設、事業用地、周辺整備、交通アクセス、両病院の跡地活用などについて調査研究を行い、市および関係機関に提言を行う予定です。



CLOSE UP!

10月臨時会・12月定例会 議案の審議結果

会期：臨時会10月16日 定例会12月1日～22日

■全員賛成で可決した議案

補正予算 (12月) 【詳細は4～5ページ参照】

議案第133号～136号、138号
 平成27年度一般会計 (第4号・5号)
 介護保険特別会計保険事業勘定 (第2号)
 介護保険特別会計サービス事業勘定 (第2号)
 農業共済特別会計 (第2号)
承認第5号
 議案第133号平成27年度一般会計補正予算 (第4号) の原案訂正

地域医療 (10月) 【詳細は7ページ参照】

発議第2号
 地域医療総合支援センター(仮称)等調査特別委員会の設置

人事案件 (12月)

同意第3号
 任期満了に伴う教育委員会委員の任命

■その他の案件

月	項目	議案番号	件名
10月	決議	4	丹(まごころ)の里創生総合戦略に係る提言
12月	決議	115	情報公開条例の改正
		118	俳人細見綾子ふるさと文化振興基金条例の制定
		119	税条例等の改正
		120	市有財産の無償譲渡(東中自治会)
		121	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
		122	丹(まごころ)の里手話言語条例の制定*
		123	市立障害者地域活動支援センターに係る指定管理者の指定
		124	字の区域変更
		125	市立とれとれ市農産物直売施設ひかみ四季菜館に係る指定管理者の指定
		126	市立道の駅あおがき直販加工施設に係る指定管理者の指定
		127	市立道の駅丹波おばあちゃんの里に係る指定管理者の指定
		128	市立丹波悠遊の森に係る指定管理者の指定
		129	市立ウッディプラザ山の駅に係る指定管理者の指定
		130	市立今出川親水公園に係る指定管理者の指定
		131	黒井城跡整備委員会の設置に関する条例の制定
		132	特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
		137	特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例の制定
	発議	3	丹波市議会会議規則の改正

【用語解説】
特別多数議決：基本的には出席議員の過半数の賛成により議決するが、市役所の位置を定める条例や議員の資格の決定、除名、長の不信任議決など、さらに多くの賛成が必要な場合の議決をいう。
発議：議員提案による議題
議案：市当局提案による議題
承認：一定の行為を行う場合の同意
同意：市長が行う人事案件などへの同意
決議：事実上の意思形成

討論をチェック!
 ※賛成・反対の討論があった議案には*を付記しています。討論の様子は、丹波市議会インターネット中継(録画中継)でご覧いただけます。

■賛否が分かれた議案

※議長は特別多数議決*を除き表決に加わりません。

議案番号	件名	結果	賛成	反対	議員																		
					垣内 廣明	坂谷 高義	木戸 せつみ	岸田 昇	平井 孝彦	前川 豊市	西脇 秀隆	西本 嘉宏	田坂 幸恵	藤原 悟	足立 克己	太田 一誠	太田 喜一郎	山本 忠利	土田 信憲	横田 親	荻野 拓司	林 時彦	白井 八洲郎
12月 議案第116号	市立山南農村環境改善センター(やまなみホール)の廃止	原案可決	19	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号	市立山南農村環境改善センター(やまなみホール)用途変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第7号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願	不採択	3	16	×	×	×	×	×	×	○	○	○*	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-

民生常任委員会行政視察報告

10月14日～15日 愛知県安城市・神奈川県藤沢市

ニートやひきこもり状態にある若年者の支援について先進事例を学ぶ

丹波市が抱える様々な課題を調査・研究するため、先進地を訪問し、視察研修を行いました。



生活困窮者自立支援の取り組み（安城市）

安城市では、平成26年度に実施された生活困窮者自立促進支援モデル事業について学びました。

安城市では、相談支援、就労準備支援を直営で実施されるとともに、貧困の連鎖を防ぐため、子どもへの学習支援事業をNPO団体とシルバー人材センターに委託し事業を推進されています。

本市においても、事業を推進していくにあたり、行政部局、外部団体との連携を強化する必要があると感じました。



生活困窮者自立支援について学ぶ

ニートやひきこもり状態にある若年者の支援（藤沢市）



「ユースワークふじさわ」の施設内を見学しながらさまざまな自立支援の形を学ぶ（写真はガーデニングゾーン）

藤沢市では、「ユースワークふじさわ」を拠点として、ニートやひきこもり状態にある若年者の自立に向け、個別のプログラムを作成し、就労準備や就労支援、家族支援など一人一人に応じたきめ細やかな支援が行われています。

本市においても、拠点施設を整備し、相談に訪れやすい居場所づくりに努めるなど、相談者に寄り添える事業展開を図るべきであると感じました。

ようこそ 丹波市議会へ 全国各地からの視察を受入れています



丹波市議会には、全国各地からたくさんの方々が視察に訪れています。

一昨年の豪雨災害により受入れを中止していましたが、受入れを再開して以降、5月13日の長野県飯山市議会、徳島県吉野川市議会を皮切りに11月19日の北海道むかわ町議会まで、26団体239人が来丹されました。

これからも、他市の見本となり、市民のみなさんの負託に十分応えられるような議会をめざします。

*** 視察BEST 3 ***

1. 議会改革
(タブレット端末の導入含む)
2. 地域医療再生
3. 定住促進・企業誘致・
中心市街地活性化

1

提言

人口ビジョン 総合戦略全体に かかわるもの

【提言内容】

2060年までの目標人口を53000人に設定し、「帰ってこいよー」のスローガンのもと、人口の社会減、自然減を最小限に食い止めるための施策を積極的に取り組む。

【提言趣旨】

丹波市の総人口の推計は、人口シミュレーションで示されているとおり、現状で推移した場合には、2060年に35245人とされており、今後45年間で29243人、年間650人の減少が見込まれている。このため、現在実施されている施策に加え、本提言書で提言する施策を展開することにより、今後の人口減少幅を推計の約半分に抑制することを目標と

して、2060年の目標人口を53000人とする「シミュレーション2」の推計人口を目標とする。

2

提言

人口の 社会増の取組みに 関するもの

【提言内容】

本年度終了する「元氣な地域づくり特別事業交付金」の後継事業として、丹波市人口ビジョンに定めた目標人口の達成に向けて、推進本部、指導員、推進委員、住民が一体となって取り組む各自治協議会、各自治会の特色ある事業に対して、重点的に交付金が交付される新たな制度を整備する。

【提言趣旨】

市長を本部長とする推進本部、外部有識者で構成する懇話会が中心になって協議が進められて

議員20名が「討論」を重ね

「人口減少対策に関する提言書」を

市長へ提出しました

市議会からの

提言

丹波市議会では、現在市が策定を進めている丹波市における総合戦略「丹波市丹(まごころ)の里創生総合戦略」について、政策討論会(岸田昇座長)を開催して議員間で討論を重ね、この戦略における人口減少対策への提言を次の3つの論点ごとに提言書としてまとめました。

- ① 人口ビジョン、総合戦略全体にかかわる提言
- ② 人口の社会増の取組みに関する提言
- ③ 人口の自然増の取組みに関する提言

この提言が丹波市の地域創生の糧になるよう、市当局にはこれを尊重の上、今後の総合戦略の策定に活かされることを願っています。

丹波市議会
議長 奥村 隆
平成27年10月3日

丹波市議会
議長 奥村 隆

丹波市長 止 重五郎 様

「丹波市丹(まごころ)の里創生総合戦略への提言書」の件について

丹波市議会では、現在市が策定を進めている丹波市における総合戦略「丹波市丹(まごころ)の里創生総合戦略」について、政策討論会を開催し議員間で討論を重ね、この戦略における人口減少対策への提言をまとめた提言書としてまとめました。本提言が丹波市の地域創生の糧になるよう、市当局におかれてはこれを尊重の上、今後の総合戦略の策定に活かされますことをお願い申し上げます。本討論会に提出された各会派からの提言も参考までに添付いたします。

【提言内容】
丹波市で安心して出産・子育てができる支援策を充実させる。

【新規・拡充】
①妊娠期からの切れ目のない子育て支援(丹波版ネウボウ)の整備

3 提言 人口の自然増の取組みに関するもの

はいるが、この様な体制の中で策定された総合戦略、人口ビジョンを確実に進めるには、丹波市自治基本条例に準じて市行政と自治会との協働、参画がなくてはならない。

■実施団体 小学校区25自治協議会、各自治会

■事業経費 80万円×25×10年＝2億円

計画策定経費(現行予算額)20万円×25＝500万円

④不育症の治療費助成
治療を受けている方への助成
1人につき10万円/年(1

【拡充】
②出産祝金事業の拡充
第2子に20万円、第3子以降1人につき50万円、(現行)第3子以降1人につき20万円

③保育料の軽減拡充(第2子は5割軽減、第3子は無料)(現行)1号認定：同一世帯小学校3年生までの兄、姉がいる場合、2人目は5割軽減、3人目以降は無料 2、3号認定：同一世帯の兄、姉が認定子ども園等に入所等している場合、2人目は5割軽減、3人目以降は無料

ア 支援体制の構築及び組織・団体等や事業の体系化
イ 旧6町の子育て学習センター等に保健師を配置
ウ 産前・産後ケア用施設(既設利用による助産所等)の整備

【拡充】
②出産祝金事業の拡充
第2子に20万円、第3子以降1人につき50万円、(現行)第3子以降1人につき20万円

④10万円×申請者10人/年
③軽減負担額が仮に30%増加すると見込むと、約500万円/年の市負担増となる。

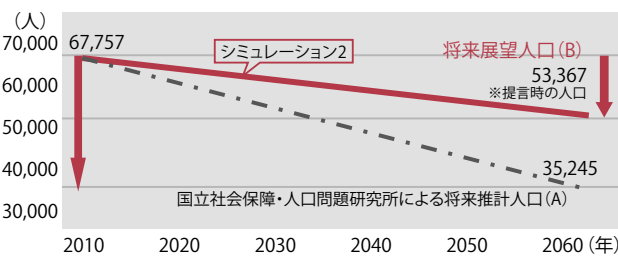
①目標年度を定めて計画と予算化を行う
②(20万円×100人/年)+(50万円×50人/年)＝4500万円/年

【提言趣旨】
現在も出産・子育て支援が実施されているが、丹波市における子育て環境や支援への満足度は、普通・やや低い・低いが未就学児・就学児共に70%以上ある。

また、転入・転出者共に、今後、丹波市が特に力を入れるべき取組みとして、子ども・子育てを上位に挙げている。

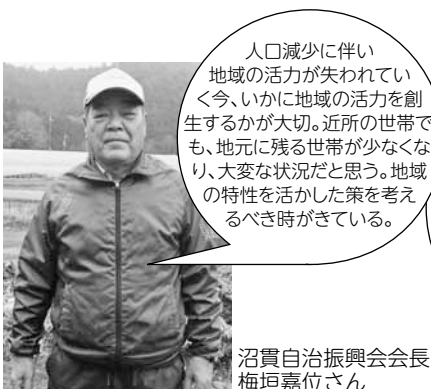
丹波市で安心して出産・子育てができるよう現在の支援の拡充と産前・産後・子育てを切れ目なく支援する制度づくりを行う。

丹波市の自然増減、社会増減の影響度を反映した人口シミュレーション(予測)



※提言後、市は2060年の将来展望人口を50,417人に修正されました。

【解説】現状のまま人口が減少した場合、2060年にはほぼ半数の35,245人になると推測されています(A)。しかし、丹波市は合計特殊出生率が国よりも0.25高いことから、国の上昇分に合わせて増加し、2020年までに社会増減が均衡となると予測した場合、2060年の将来展望人口(B)は53,367人となります。これをめざすには、積極的な施策を打ち出すことが重要です。



人口減少に伴い地域の活力が失われていく今、いかに地域の活力を創生するかが大切。近所の世帯でも、地元に残る世帯が少なくなり、大変な状況だと思う。地域の特性を活かした策を考えるべき時がきている。



子どもがいるから地域に活力が溢れ、未来へ繋がる地域創生が可能になるはず。私は、働くならわが子と共に行ける仕事につきたいです。子どもと大人の世界に境界をつくらず、学び支え合える環境があればいいと思います。



- *第1回 8月12日(水) 「地方創生に伴う人口減少対策」の提案説明
- *第2回 8月18日(火) 議題に対する各会派からの提言発表
- *第3回 8月26日(水) 各会派からの提言に対するの質疑、討論
- *第4回 9月17日(木) 幹事会で抽出、精査された提言に対するの質疑、討論
- *第5回 10月7日(水) 議会提言とする討論
- *第6回 10月16日(金) 提言書のまとめ
- *市長へ提言書を提出